竹原市シルバー人材センターだより１０月号

★現在募集中の就業情報★

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 施設の自動車運転・・・月･水･金 ８：00～9：30
5. 高齢者施設の下膳･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)・・・16：00～19：00　3H

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、
遠慮なく事務局まで連絡下さい。

１０月１５日　シルバーの日　ボランティア活動

たくさんのご参加ありがとうございました。

竹原東・中通・忠海・北部 地域班

竹原西地域班

大乗地域班

吉名地域班

クイズはうらにあります

１１月２７日（日曜日）竹原市民館において
「ザ★コンサート２０２２」があります。
入場券はシルバー事務局にあります。
前売り券１０００円です。コンサートに
行ってみたいと思われる方は、
シルバー事務局にご連絡ください。

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～D をつなげてできる言葉は？

1 B	2		■	3 A	4
5	D	■	6		C
■	7		■		■
8		■	9		10
11		12		■	
13					■

A	B	C	D

タテのカギ

1. 黙ってみているだけ
2. 用事を言いつけられて、あちこちに行くこと
3. 指図、指揮のこと
4. 詩歌で類似の音を一定の位置に使うことを「〇〇を踏む」という
8. あやしいこと。不思議なこと
9. デビルやサタン
10. ７０歳の称
12. たわいないでたらめな話を〇〇話という

ヨコのカギ

1. 種々の事を思いついたまま書き記すこと
3. 後戻りはできないことを「〇〇は投げられた」という
5. 商品が市場で売買される値段
6. 事が終わった後も残る風情や味わい
7. 栗などの外皮
8 河馬と書く動物
9. 目をかけて引き立てること。ひいき
11. 仕事などを外の人にゆだね頼むこと
13. 三色そぼろ丼の黄色い部分

名　前

答えをご持参の方に粗品進呈
11 月 21 日 以降にご持参ください。
提出･受取りは会員さん本人に限ります。

№１８５　　２０２２年１０月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

草刈機での飛び石の事故が多発しています。必ず飛散防止ネットを使用して作業してください。

★今月の事故★

１．事故の概要（就業中）

午前１０時頃からムクゲの木等を単独で７尺の脚立を使って剪定していたが、１０時４５分頃、脚立の下段からコンクリート通路に落下して後頭部を強打した。倒れているところを発注者に発見され、救急搬送されたが後日死亡した。

当該樹木は、建物のそばに植栽されていて建物から約 2.5m離れたところにブロック塀があり、狭隘なところに４本足の脚立を建物に向かってハの字に立てての作業であった。

２．事故の原因

目撃者がいない為、正確には判断できないが、脚立の上でバランスを崩して転落したものと思われる。作業は一人で行い、安全帽は着用していなかった。また、墜落制止用器具（安全帯）も使用していなかった。

３．事故発生後の再発防止策

【センター】

・重篤事故発生に伴う注意喚起文書を全会員に送付した。
・就業管理委員会を開催し、事故報告及び再発防止について協議。理事会を開催した。
・主に剪定作業を担当している会員（約５０名）を招集し、「安全就業説明会」を開催した。
・全会員に「安全基準」を送付し、注意喚起を行った。

【連合本部】

・県内各シルバー人材センターに事故に伴う注意喚起を行った。
・事務局による現場確認を行い、事故発生の状況及び原因、就業場所の環境及び安全確認を実施し、今後の対策など助言した。
・安全就業対策委員会を開催し、安全点検の日の制定など事故防止策を協議し、全センターに周知した。

４．全シ協から

この内容で掲載するのは何度目でしょうか、残念でなりません。

最も欠かせない安全帽を装着していなかったこと、墜落制止用器具（安全帯）を装着していなかったこと、一人での作業のため、発見が遅れた可能性もあり、安全な状態での作業状態ではなく起きてしまったと考えられます。

なんといっても、㊟安全帽の装着は、必須です。

また、㊟脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止用器具（安全帯）も必須です。

さらに、作業は、㊟一人で行わないでください。

墜落制止用器具（安全帯）の装着が難しい場合や地面同様の環境が確保できない場合は、請け負うことは、お断りください。

事故防止策で、例えば、安全作業チェックシートなどで剪定就業会員に安全帽、墜落制止用器具（安全帯）の有無、三脚脚立の固定状態などにチェックを入れ事務局に提出することなどを行い、会員さんに「自分の安全は自分で守る」という意識を徹底してもらうこと、さらに、職員や安全委員による安全パトロール（抜き打ち含む）を行い、安全帽、墜落制止用器具（安全帯）の装着など、チェック項目を決め会員さんに安全就業の意識を高めてもらうことが重要です。このような事故を起こさないように、センターとして今一度会員さんが安全、安心して就業できる環境について話し合い、再発防止の徹底をお願いいたします。

令和４年９月（令和４年度）事故速報

（1） 重 篤 事 故

９月は、５件の重篤事故の報告がありました。

９月までの累計で比較してみると、令和３年度の１２件と比して令和４年度は１３件と１件増加しています。

また、就業中・就業途上別でみると、就業中では令和３年度の８件と比して２件の増加となっており、就業途上については、令和３年度の４件と比して１件の減少となっています。

９月報告分までの累計

令和4年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳				令和３年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	10(3)	8(3)	2(0)	8(3)	2(0)	就業中	8	5	3	8	0
	就業途上	3(2)	0(0)	3(2)	3(2)	0(0)	就業途上	4	1	3	2	2
	計	13(5)	8(3)	5(2)	11(5)	2(0)	計	12	6	6	10	2

（　　）は、当月分報告分

９月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
9	男81歳	途上（入院）	就業先から自転車で帰宅途上、右折の際後ろから来た軽自動車と接触し頭部打撲と肋骨を骨折した。	—	—	自転車
10	男77歳	途上（入院）	自転車で就業先に向かう途中、幹線道路の信号のない場所を横断中に左側から来たトラックと接触。頭部を縁石に打ち、事故直後から意識不明が続いている。（脳挫傷・肋骨骨折）	—	—	自転車
11	男86歳	就業中（死亡）	除草グループ３名で空き地の除草作業を実施。1時間単位で休憩を取りながら作業していたが30分後に当該会員が前屈みで倒れている状態を他２名の会員が発見した。意識なく熱中症の疑いがあることから通報した。	—	—	—
12	男71歳	就業中（死亡）	高さ約３ｍのムクゲ等を単独で剪定していて、脚立から落下し頭を強く打った。目撃者がいなかった為、原因は、正確には判断できないが、防御姿勢をとる間もなく落下したものと推定される。	×	×	—
13	男70歳	就業中（死亡）	空き家のマキの幹枝の伐採をするため、1名が脚立に登りチェーンソーにて伐採中、幹枝が、作業者に接触し脚立から転落した。眼底骨折、肋骨骨折など。	○	×	—

（2）１ヶ月～６ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

９月は、就業中の事故１３件、就業途上の事故３件と、合計１６件であり、昨年度同月の２５件と比して９件の減少となっています。また、男女別では、男性は８件の減少となっており、女性は１件の減少となっています。

９月までの累計で比較してみると、昨年度の１１４件と比して、本年度は１１０件と 14 件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は８７件で１件の増加となっており、就業途上は２３件で５件の減少となっています。男女別では、男性は６件の減少となっており、女性は２件の増加となっています。

令和4年度9月分

	仕事の内容		事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
			９月	累計	９月	累計	９月	累計	９月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等		3(7)	32(35)	3(7)	32(35)	0(0)	0(0)	76	77
	除草作業		4(4)	11(18)	3(3)	8(15)	1(1)	3(3)	77	77
	屋内・屋外清掃作業		4(4)	18(16)	0(1)	3(6)	4(3)	15(10)	71	77
	その他		2(6)	26(17)	2(4)	19(10)	0(2)	7(7)	71	77
	計		13(21)	87(86)	8(15)	62(66)	5(6)	25(20)	74	77
就業途上	交通手段	徒歩	1(0)	7(8)	0(0)	2(2)	1(0)	5(6)	84	73
		自転車	2(2)	12(11)	0(0)	6(4)	2(2)	6(7)	76	76
		バイク	0(1)	4(7)	0(0)	2(4)	0(1)	2(3)	—	76
		自動車	0(1)	0(2)	0(1)	0(2)	0(0)	0(0)	—	—
		計	3(4)	23(28)	0(1)	10(12)	3(3)	13(16)	78	75
合　計			16(25)	110(114)	8(16)	72(78)	8(9)	38(36)	75	76

歯周病や虫歯を予防しよう！

歯周病と虫歯は口腔の2大疾患で大切な歯を失う原因にもなるため、
対策の必要性や社会的な関心が高まっています。

歯周病とは？～歯周病は「お口の生活習慣病」です～

歯垢（プラーク）の中の歯周病菌が歯肉に炎症を起こしたり、歯を支える顎の骨などを溶かしてしまう病気です。

※プラーク

○成分のほとんどが細菌で、食べカスではありません。

○プラークは、食べ物や飲み物に含まれている糖分を栄養にして生産され増えていきます。

○ネバネバした物質で、口をゆすいでも取れません。

※歯石

○プラークが石灰化した状態が歯石です。
歯石も歯周病の原因となります。

○歯石は歯ブラシではとれません。歯科医療機関でとってもらいましょう

☑ 生活習慣のチェック

- ☐ 甘い食べ物、飲み物を取る回数が多い
- ☐ やわらかい食べ物が好き
- ☐ 歯ぎしりや歯を食いしばる癖がある
- ☐ 口で呼吸する癖がある
- ☐ ストレスが多い
- ☐ たばこを吸う
- ☐ 糖尿病などの全身疾患がある
- ☐ 歯科検診を受けていない
- ☐ 丁寧に歯を磨いていない

☑ 口の中のチェック

- ☐ 歯を磨くと血が出る
- ☐ 歯肉が赤く腫れている
- ☐ 口の中がネバネバしている
- ☐ プラークがついている
- ☐ 歯石がついている
- ☐ 口臭が気になる
- ☐ 歯肉が下がってきた（歯が伸びたように見える）
- ☐ 歯がグラグラ動く

歯周病は自覚症状がなく放っておくと、歯がグラグラし抜け落ちてしまいます。不十分な歯磨きや不規則な食生活は歯垢の増える原因となります。体調不良による抵抗力（免疫機能）の低下や喫煙、ストレスでも悪化することがあります。生活習慣を改善するとともに、歯磨きと定期的な検診で予防しましょう。

編　集　後　記

10 月に入っても夏日があったと思うと、秋を通り越し一気に冬が来たように気温の差が激しい日々、一日の間でも最高気温と最低気温に大きな差がある毎日でしたが、今年も「寒暖差疲労」、「寒暖差アレルギー」の季節です。「寒暖差疲労」の症状としては、肩こり、めまい、冷えの悪化、食欲不振など、「寒暖差アレルギー」の症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどアレルギー鼻炎に似ているけど目のかゆみ、充血等はなく、熱はないのにだるいなど。高齢者や女性は筋肉量が少ないことなどからどちらも陥りやすく、注意が必要だそうです。対策としてもっとも有効なのは体を温めること。シャワーだけで済ませずに、しっかり湯船につかり、首、手首、足首などを温めてスムーズな血流を促すこと。また軽い運動、規則正しい生活、バランスの取れた食生活なども有効だそうです。寒暖差のある時期ですが、どちらにも陥らないようにして、紅葉の美しい季節を元気にお過ごしください。（松山）

私には行きつけの中華屋があり、かれこれ１５年くらい通い続けています。住宅街にポツンと一軒あり、飲食店としては立地条件が良いとはいえないのですが、マスターは有名な中華料理店で修行された方で、都会の高級店同様の味が安価で堪能でき、何を食べても美味しいのです。そのお店の味などを知り尽くしている私は、とうとう微妙な変化に気付けるレベルにまで達しており(笑)、「あっ、今日は夫婦喧嘩をしているな」「嬉しいことがあったのかな」「体調が優れないのかな」などと、料理を通じて人間らしさが垣間見える瞬間を愉しんでいます。人が作る物は機械と違い変化があります。先日、どうしても麻婆豆腐が食べたくてお店に行ったところ、１ 週間臨時休業の貼り紙があり、後でわかったのですが、マスターの奥様の体調が悪く検査入院していたそうなのです。家族経営のお店ですから、１人欠けると休まざるをえないという厳しい現実があります。お店の大ピンチであるというのに、その１週間は私以外にも多くの方々が、麻婆豆腐を食べたくても食べられないもどかしさを感じていたことでしょう。いつも満席のこのお店は、この街にはなくてはならない存在となっているのです。さて、全国のシルバー人材センターもそれぞれの地域に於いてなくてはならない存在です。街には会員さん職員さん達を頼りにしている方々が沢山いらっしゃいます。お一人おひとりがその事を自覚され、自分の身体と相談しながら無理せず、健康に留意し、いつも笑顔が絶えないシルバー人材センターでありますように願っております。（髙木）